

## 令和2年度 授業改善推進プラン＜1年社会科＞

### 1 社会科における昨年度の授業改善推進プランの検証

#### 取り組みにおける成果と課題

- ・1学年のため昨年度の検証はなし。
- ・授業の取り組みについては、意欲的に挙手や発表する生徒が多く、集中して取り組んでいる。一方で苦手意識を持っている生徒がいるため、地理的分野、歴史的分野ともに、ICTを利用して興味をもてるような発問を繰り返し生徒に考えさせることで学習内容の理解に繋げている。また、可能な限り話し合い活動を取り入れ、明るい雰囲気の中で授業を展開することに留意している。

### 2 社会科における調査結果の分析

内容別結果の分析	<p>内容別では目標値を達成している項目が半分以上あり、概ね小学校段階の学習が定着していると言える。ただし、昨年度3月の休校が影響している領域（公民的分野）が、目標値を達成しているものの昨年度の1年生と比較して10ポイント以上低いことを考慮に入れると、例年と比較して十分満足できるとは言い難い。</p> <p>その10ポイント以上低い領域とは「我が国の政治」「世界の中の日本の役割」で、具体的な問題の内容は、「日本国憲法の三大原則」「国際連合についての理解」「ユニセフの活動について」であり、いずれも詳しくは中学校3年生で学習することとなるので参考にして授業を組み立てていく。</p> <p>また、公民的分野以外で10ポイント以上低い（昨年度比較）領域は、地理的分野で「太平洋ベルト」、歴史的分野で「参勤交代」となっている。</p> <p>いずれも中学校2年生の内容なので、第1学年の地理的分野、歴史的分野での基礎をしっかりと築き、苦手分野に備えていきたい。</p>
観点別結果の分析	<p>目標値と比較して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象への関心・意欲・態度は1.7ポイント上回っている。（全国平均比+2.0）</li> <li>・社会的な思考・判断・表現は3.7ポイント上回っている。（全国平均比+1.9）</li> <li>・資料活用の技能は4.6ポイント上回っている。（全国平均比+2.7）</li> <li>・社会的事象についての知識・理解は0.7ポイント上回っている。（全国平均比+0.6）</li> </ul>

### 3 調査結果に基づいた授業改善のポイント

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業の導入の工夫や生徒の興味関心をもたせる学習課題の設定を行う。	グループ活動やペアワークなど発表活動や文章でまとめる活動を充実させる。	ICTを活用しながら、資料の読み取り方を確実に習得させる。	小テストの実施や授業まとめの振り返りを行えるノート作りに取り組むことで、基本的な知識の定着を図る。

## 令和2年度 授業改善推進プラン〈2年社会科〉

### 1 社会科における昨年度の授業改善推進プランの検証

<p>取り組みにおける成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の校内平均正答率と比較すると、2.2ポイント増加している。基礎問題の正答率より活用問題の正答率の方が上がっている。4月からの休業日が続き、授業進度がなかなかはかどらなかったのが課題である。</li> </ul>
---

### 2 社会科における調査結果の分析

内容別結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科全体の達成率は、目標値（期待正答率）より4.8ポイント上回っており、基礎に比べて活用の力が強い傾向がある。</li> <li>・問題の内容別正答率は、地理的分野の「世界の諸地域では」が授業時間数が不十分だったため区の平均正答率を5.4ポイント下回った。</li> <li>・歴史的分野では、「飛鳥から平安時代」で1.7ポイント下回った。</li> </ul>
観点別結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象への関心・意欲・態度は目標値を11.7ポイント上回っている。</li> <li>・社会的な思考・判断・表現は目標値を13.4ポイント上回っている。</li> <li>・資料活用の技能は目標値を3.8ポイント上回っている。</li> <li>・社会的事象についての知識・理解は目標値を3.9ポイント上回っている。</li> <li>・前年度の校内平均正答率と比較し、社会的事象についての知識・理解は1.9ポイント増加している。</li> <li>・オーストラリアの鉱工業に関する資料を読み取る問題の正答率が15.7ポイントと特に低かった。</li> </ul>

### 3 調査結果に基づいた授業改善のポイント

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
付箋を活用した授業を行い、生徒の興味関心をもたせる学習課題の設定を行う。	授業内での発表活動やワークシートを活用した文章でまとめる活動を充実させる。	黒板に拡大した資料をはり、資料の読み取り方や地図の見方を習得させる。	小テストやコンテストの実施や授業まとめの振り返りを行うことで、基本的な知識の定着を図る。

## 令和2年度 授業改善推進プラン<3年社会科>

### 1 社会科における昨年度の授業改善推進プランの検証

#### 取り組みにおける成果と課題

・前年度の校内平均正答率と比較すると、5.2ポイント減少している。基礎問題の正答率が減少しているが活用問題の正答率は上がっている。授業の持ち方の関係で学習内容が地理的分野に偏ってしまったため、全体的な数値が減少してしまったと考えられる。

### 2 社会科における調査結果の分析

内容別結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科全体の達成率は、目標値（期待正答率）より4.8ポイント上回っており、基礎に比べて活用の力が強い傾向がある。</li> <li>・問題の内容別正答率は、歴史的分野の「江戸時代」が授業時間数が不十分だったため区の平均正答率を1.2ポイント下回った。</li> <li>・地理的分野では、すべての内容で目標値を上回った。</li> </ul>
観点別結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象への関心・意欲・態度は目標値を10.6ポイント上回っている。</li> <li>・社会的な思考・判断・表現は目標値を9.2ポイント上回っている。</li> <li>・資料活用の技能は目標値を6.1ポイント上回っている。</li> <li>・社会的事象についての知識・理解は目標値を3.5ポイント上回っている。</li> </ul> <p>前年度の校内平均正答率と比較し、社会的事象についての知識・理解は6.6ポイント減少している。</p> <p>江戸時代の株仲間について理解している問題の正答率が特に低かった。</p>

### 3 調査結果に基づいた授業改善のポイント

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業の導入の工夫や生徒の興味関心をもたせる学習課題の設定を行う。	授業内での発表活動やワークシートを活用した文章でまとめる活動を充実させる。	デジタル教科書を活用しながら、資料の読み取り方を確実に習得させる。	小テストの実施や授業まとめの振り返りを行うことで、基本的な知識の定着を図る。